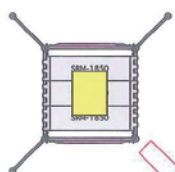


◎現場 事故報告

ある地方のアリーナ現場にて、
現地業者施工の3Sタワーの転倒
事故がありました…

以下、偶然にも遭遇してしまった
ツアー現場チーフの東京技術部戸
谷さんからのレポートです。

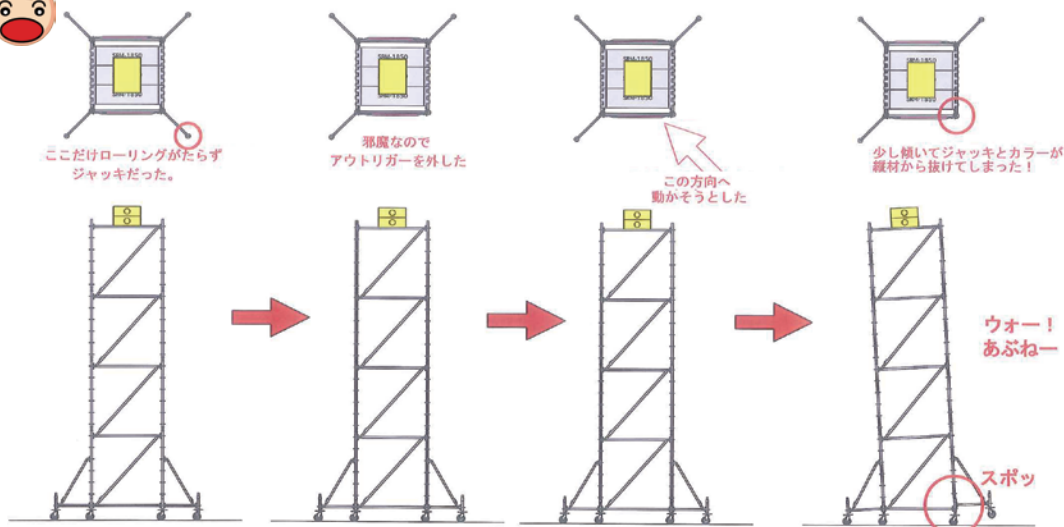


抜けたジャッキとカラーの方向へ倒れてしまった!

ワー!!!

ドン!

が、倒れた先の
山台にもたれかかり
45°くらいで止まった!



○某アリーナ会場で起きた撤去時の事故の件です。

3/3 ツアー2カ所目の撤去時でした。
ちょっとバタバタするバラしの序盤で、現地の髙さんのワー! という声で
後ろを振り向くと、プロジェクター用の4段単基の3Sが大きく傾く瞬間でした。

3Sのトップには映像さんが一人のっており、『うわーこれはやばい』と
思いましたが、何も出来る訳がなく遠くから見ていたことしか出来ませんでした。
が、大きく倒れかけた先にツアーで組んでいる山台がありそこにもたれる形で3Sは
止まりました。

倒れる途中で作業用キトーの電源ケーブルがからまったようで、断線し、火花も散って
いました。

幸い、作業していた映像さんはなんとかしがみついており、山台から自力で降りる事
が出来て怪我もなく無事でした。

監督と作業関係者を集め原因を探ったところ、倒れた方向のアウトリガーが、動かす
方向の障害になったため外し、『せーの』で動かしたら3Sのカラーとジャッキが縦材
から抜けてしまい、抜けた一角の方向へ倒れたという見解になりました。

怪我人もなく、機材の破損だけですみましたが、完全に倒れていたなら・・・
と思うとゾッとします。

この事故を受けての改善点ですが・・・

- ①単基の3Sでも3段以上になる場合はきちんと水平ブレスを入れる
- ②アウトリガーは絶対に外さない
- ③足下まわりに障害物がないか確認する(ビニテのゴミやボルトなど)
- ④イケイケでバラさない

以後ツアーの撤去では仕込み序盤のペースをだいたい落とし、あいてるアルバイトには
常にゴミ拾いを徹底しています。

撤去の序盤は特にバタバタします。
目が届かない作業がないように、現場チーフは舞台監督と共に現場を管理しましょう。
きれいな撤去に事故は起こりにくいですから。

